

接尾辞「ばい」が結び付く語句について

田村 泰男

0. はじめに

接尾辞「ばい」は、森田(1889)¹に述べられているように、「ある種の動詞の連用形、形容詞・形容動詞の語幹、名詞に付いて、その傾向・状態・要素などが色濃く現れて、その主体の一つの特異な属性となっていることを示す」接尾辞であるが、「的」「風」などの類義の接辞と比べると、その規範的な使用においては、名詞を除き、それほど生産性が高いとは言えず²、「ばい」と結び付く語彙は品詞ごとにある程度決まっていた。しかしながら、近年、「ばい」の持つ口語的な要素からか、「ダメそうっばい」「客らしくないっばい人」などの例のように多種多様な語句に後接し、極めて生産性の高い接尾辞として用いられている。

そこで、本稿では、現代小説から接尾辞「ばい」の用例を収集・分析した上で、Web上で公開されている、主として個人のホームページで用いられている用例を収集・分析し、その使用環境の広がりについて、形態論的な観点から考察していきたいと思う。

1. 小説における接尾辞「ばい」

本章では先ず、接尾辞「ばい」の標準的な使用状況を見るため、文庫本 50 冊³を調査し、「ばい」を含む用例を全て抜き出してみた。収集した用例は、異なり語数で 51 例、総数で 335 例あり、これらを数の多い順に並べたものが表(1)である。

表(1) 用例数別に見た小説における「ばい」の出現状況

白っばい	38 例	愚痴っばい	3 例	ガキっばい	1 例
皮肉っばい	34 例	水っばい	3 例	学生っばい	1 例
黒っばい	29 例	哀れっばい	3 例	不良っばい	1 例
色っばい	27 例	黄色っばい	2 例	少年ばい	1 例
熱っばい	22 例	赤っばい	2 例	骨っばい	1 例
荒っばい	22 例	灰色っばい	2 例	春っばい	1 例
悪戯っばい	21 例	粉っばい	2 例	遠慮っばい	1 例
子供っばい	15 例	冗談っばい	2 例	営業っばい	1 例
湿っばい	15 例	浮気っばい	2 例	SMっばい	1 例

安っぽい	14 例	言い訳っぽい	2 例	筋っぽい	1 例
埃っぽい	14 例	不潔っぽい	2 例	理屈っぽい	1 例
男っぽい	9 例	いがらっぽい	2 例	俗っぽい	1 例
大人っぽい	7 例	茶色っぽい	1 例	僻みっぽい	1 例
艶っぽい	6 例	あおっぽい	1 例	アサガオっぽい	1 例
怒りっぽい	5 例	女性っぽい	1 例	カジュアルっぽい	1 例
女っぽい	5 例	紳士っぽい	1 例	マッシュルームっぽい	1 例
嘘っぽい	3 例	女学生っぽい	1 例	コ-ヒ-色っぽい	1 例

表(1)から分かるように、「っぽい」が付く語には、大凡次のような特徴が見られる。

- 1) 全ての語において促音化が起こっている。
- 2) 「っぽい」が付く語は、全てが肯定形で、否定形は見られない。
- 3) 「っぽい」が付く語は、ほとんどが名詞、形容動詞であり、動詞や色彩語彙⁴以外の形容詞に付く用例は少ない。
- 4) 「っぽい」が付く語は、ほとんどが和語または漢語であり、用例数の多いものの前接語は和語が多い。外来語に付く用例も見られるが、一語あたりの用例数は少ない。
- 5) 「っぽい」が付く語は、一部のものを除き、ほとんどが単純語である。

2. Web 上に出現する「っぽい」

2.0 調査方法及び結果の概略

Web 上における「っぽい」の用例に関しては、Yahoo! Japan を検索エンジンとして、用例を調査・分析してみた。この調査結果に従い、小説の用例には見られなかった特徴を記すならば、概ね次のことを指摘できる。小説の中では、「白っぽい」「皮肉っぽい」のように全てが促音化した形であったが、Web 上での用例には、「外人っぽい」「猫っぽい」のように促音化していない用例が数多く見られた。また、「食べる」「問題じゃない」のような述語形や、「これ」「それ」「わたし」「あなた」のような代名詞、「まだ」「やっと」「やっぱり」などの副詞が、「っぽい」に前接する用例も現れている。このような前接語(句)の多様化は、「っぽい」の造語力がこれまでよりも旺盛なものになってきていることの裏付けになっていると言えるであろう。

次節以降では、「っぽい」に前接する語の形態にも留意ながら、用例を品詞別に考察してみたいと思う。

2.1 「名詞+ばい」

ここでは、形容動詞としての用法を持たない名詞を考察対象とし、連体形「～な」をもつ語の場合は、形容動詞のところで扱うこととする。

「ばい」が付く名詞は広範囲にわたっており、和語・漢語系の単純語では次のような用例を見ることができる（第1章で挙げたものを除く）。

- ・熊(っ)ばい、まとめっばい、技(っ)ばい、おまけ(っ)ばい、肉(っ)ばい、餌(っ)ばい、魚(っ)ばい、犬(っ)ばい、猫(っ)ばい、蛙(っ)ばい、毒(っ)ばい、海(っ)ばい、虫(っ)ばい、汁(っ)ばい、鬱(っ)ばい、裏(っ)ばい、棚っばい、愛(っ)ばい、土(っ)ばい、のりっばい、花(っ)ばい、布(っ)ばい、通(っ)ばい、顔(っ)ばい、冬(っ)ばい、地(っ)ばい、家(っ)ばい、ネタ(っ)ばい、オヤジ(っ)ばい、小泉(っ)ばい、釈迦っばい、沖繩(っ)ばい、日本っばい、

その他、複合語や「名詞の名詞」に付加された用例も数多く見られる。

- ・中間管理職っばい、選挙活動っばい、情報系っばい、開発開始っばい、社会哲学っばい、基本理念っばい、異常気象(っ)ばい、編集後記(っ)ばい、精神感応っばい
- ・普通の家(っ)ばい、猫の手足っばい、人の顔っばい、本物の車っばい、中国の服っばい、福井弁の使い方っばい、由美の日記っばい、リスの食べ方っばい

外来語においても同様で、カタカナ表記、アルファベット表記を問わず、多種多様なものが現れており、短縮語、頭文字に「ばい」が付加される用例もある。また、外来語同士或いは和語／漢語と組み合わせさせた複合語も数多く見られる。

- ・バッハ(っ)ばい、アメリカ(っ)ばい、ウィルス(っ)ばい、ストーカー(っ)ばい、イベント(っ)ばい、ポーズ(っ)ばい、ココア(っ)ばい、コラム(っ)ばい、プログラム(っ)ばい、ギャグ(っ)ばい、ハムスター(っ)ばい、シングル(っ)ばい、ハム(っ)ばい、アイドル(っ)ばい、
Explorer(っ)ばい、Windows(っ)ばい、Profile(っ)ばい、Chat(っ)ばい、Gameっばい、Art(っ)ばい、Jazz(っ)ばい、
- ・エロ(っ)ばい、テクノ(っ)ばい、ロリ(っ)ばい、ポップ(っ)ばい、シンセ(っ)ばい
- ・Sっばい、Lっばい、BBS(っ)ばい、FAQ(っ)ばい、TCっばい、CM(っ)ばい、SF(っ)ばい
- ・ニュースサイト(っ)ばい、マックワールドっばい、ニューウェイブっばい、テキストエディター(っ)ばい、Minority Reportっばい、Soft Reviewっばい、
- ・カメラ恐怖症っばい、ワン切りっばい、オブジェクト指向(っ)ばい、ゲーム関連(っ)ばい、IT系(っ)ばい、CG漫画っばい、FFA専用っばい、脱CCDっばい、ROサイト

っぽい

さらに、上述したものに加え、次のように述語形が「っぽい」と結び付く用例も見られる。

- ・意味ない(っ)っぽい、問題ない(っ)っぽい、都パスないっぽい、問題ではないっぽい、ゲームではないっぽい、エラーではないっぽい、英語じゃないっぽい、猫じゃないっぽい、パロディ路線じゃないっぽい、名前だっぽい、データだっぽい、春らしいっぽい、インフルエンザらしいっぽい、会社らしいっぽい、夏らしくないっぽい、客らしくないっぽい、若人らしくないっぽい、金貸みたいっぽい、ロボットみたいっぽい、新入社員だろうっぽい、CDだろうっぽい、お客さんじゃないだろうっぽい、原因かもしれないっぽい、いい人そうっぽい

2.2 「形容動詞+っぽい」

形容動詞と「っぽい」が結び付く場合は、「不潔っぽい」「悪戯っぽい」のように、語幹が「っぽい」の前に立つというのがこれまでの説明であったが、Web 上ではこの他、用例は少ないが、連体形や終止形と結び付く用例が現れている。なお、ここでも「外来語+っぽい」の用例が数多く見られる。

- ・大丈夫(っ)っぽい、真面目(っ)っぽい、無理(っ)っぽい、楽(っ)っぽい、平凡(っ)っぽい、素敵(っ)っぽい、浮気(っ)っぽい、だめ(っ)っぽい、爽やか(っ)っぽい、壮大(っ)っぽい、適当(っ)っぽい、高級(っ)っぽい、悪戯(っ)っぽい、皮肉(っ)っぽい、静かっぽい、元気(っ)っぽい、のどかっぽい、リアル(っ)っぽい、ハード(っ)っぽい、ゴージャス(っ)っぽい、モダン(っ)っぽい、デリケート(っ)っぽい、クール(っ)っぽい、シリアス(っ)っぽい、スマート(っ)っぽい、ダイナミックっぽい
- ・変なっぽい、きれいなっぽい、幸せなっぽい、まともなっぽい、ヒマなっぽい、危険なっぽい、滑らかなっぽい、妙なっぽい、下手なっぽい、ナチュラルな(っ)っぽい、
- ・駄目だっぽい、無理だっぽい、嫌だっぽい、無責任だっぽい

また、終止形以外では、次のような述語形に後接する用例があるが、名詞の場合と比べると数は少ない。

- ・完全ではないっぽい、有名ではないっぽい、大丈夫じゃないっぽい、得意じゃない(っ)っぽい、適切でなっぽい、大変じゃなっぽい、有名らしいっぽい、不可能らしいっぽい、大丈夫みたいっぽい、苦手かもしれないっぽい

2.3 「形容詞+っぽい」

「形容詞+ばい」は、前章の文庫本での調査結果では、色彩語彙を除けば、「安っばい」「荒っばい」「いがらっばい」の三語しか用例がなかったが、Web 上では、以下のように様々な形容詞に「ばい」が結び付く用例が出現している。しかしながら、出現頻度は結び付く形容詞によって大きく異なり、森田(1989)等に用例として挙げられていない、いわゆる新語とでも言うべきようなものは、一つの語彙あたりの用例が少ない。

形容詞と「ばい」が結び付く場合も、形容動詞の場合と同様に、語幹が前接するのが基本であったが、「軽い(っ)ばい」「幼い(っ)ばい」のように、辞書形が前にくる用例も多く、以下に挙げたもののうち、「粗い」「えがらい」を除いた全ての形容詞に「辞書形+ばい」の用例があった。また、「楽しっばい」「嬉しっばい」「悲しっばい」という用例がないのに対して、「楽しい(っ)ばい」「嬉しい(っ)ばい」「悲しい(っ)ばい」という語形が現れていることから、語幹のみならず辞書形の場合も生産性が高いと言える。

- ・黒(っ)ばい、白(っ)ばい、青(っ)ばい、赤(っ)ばい、黄色(っ)ばい、茶色(っ)ばい、安(っ)ばい、荒(っ)ばい、粗(っ)ばい、苦(っ)ばい、えがら(っ)ばい、軽(っ)ばい、高(っ)ばい、甘(っ)ばい、辛(っ)ばい、うるさ(っ)ばい、低(っ)ばい、薄(っ)ばい、寒(っ)ばい、暗(っ)ばい、幼(っ)ばい、重(っ)ばい、太(っ)ばい、寂(っ)ばい、渋(っ)ばい、深(っ)ばい、早(っ)ばい、浅(っ)ばい、細(っ)ばい、遅(っ)ばい、汚(っ)ばい、明る(っ)ばい、柔らか(っ)ばい、固(っ)ばい、近(っ)ばい、厚(っ)ばい、涼(っ)ばい、暑(っ)ばい

この他、次のような述語形と結び付いた用例がある。

- ・高くない(っ)ばい、楽しくない(っ)ばい、重くない(っ)ばい、いいらしい(っ)ばい、悪いらしい(っ)ばい、安そう(っ)ばい、高そう(っ)ばい、悪いのかもしれない(っ)ばい、つらいのかもしれない(っ)ばい、可愛らしいだろう(っ)ばい

2.4 「動詞+ばい」

連用形の形で「ばい」と結び付く動詞の数は、今回の文庫本での調査でも、これまでに報告された論文等においても、あまり多くない。これは Web 上でも同様で、以下の用例に見られるように、それほど新語らしきものが現れているわけではなく、「形容詞の語幹+ばい」に比べると、生産性はあまり高くない。

- ・飽き(っ)ばい、忘れ(っ)ばい、怒り(っ)ばい、惚れ(っ)ばい、僻み(っ)ばい、疲れ(っ)ばい、汚れ(っ)ばい、しけ(っ)ばい、湿(り)(っ)ばい、慌て(っ)ばい、恨み(っ)ばい、むせ(っ)ばい、凝り(っ)ばい、泣き(っ)ばい、溶け(っ)ばい、腐り(っ)ばい、凍り(っ)ばい、冷め(っ)ばい、諦め(っ)ばい、悩み(っ)ばい⁵

連用形に比して、造語力遅しく「ばい」と結び付く動詞の語形に辞書形(言い切り形)

がある。以下に挙げるのは、ほんの一例であり、生産性はかなり高い。

- ・ いる(っ)ばい、ある(っ)ばい、食べる(っ)ばい、走る(っ)ばい、行く(っ)ばい、見る(っ)ばい、やる(っ)ばい、わかる(っ)ばい、泣く(っ)ばい、作る(っ)ばい、やめる(っ)ばい、寝る(っ)ばい、書く(っ)ばい、落ちる(っ)ばい、飲む(っ)ばい、歩く(っ)ばい、勉強する(っ)ばい、検査する(っ)ばい、サボる(っ)ばい、オープンする(っ)ばい

この他では、次のような「述語形+ばい」の用例が見られるが、ここでもまた高い生産性を示している。

- ・ 使っている(っ)ばい、書いてある(っ)ばい、動いている(っ)ばい、行かない(っ)ばい、考えていない(っ)ばい、合っていない(っ)ばい、見た(っ)ばい、踏まれた(っ)ばい、待っていた(っ)ばい、買った(っ)ばい、見られてた(っ)ばい、やらなかった(っ)ばい、見ていなかった(っ)ばい、とれてなかった(っ)ばい、終わっちゃ(っ)ばい、死んじゃった(っ)ばい、死にそう(っ)ばい、できなさそう(っ)ばい、怒ってそう(っ)ばい、使ってなさそう(っ)ばい、描いてもらえそう(っ)ばい、するらしい(っ)ばい、できるらしい(っ)ばい、しないらしい(っ)ばい、売ってるらしい(っ)ばい、決めてないらしい(っ)ばい、するみたい(っ)ばい、見てみたい(っ)ばい、やってるみたい(っ)ばい、考えすぎたみたい(っ)ばい

2.5 その他の品詞

従来の論文、辞書等では、「ばい」が付加される品詞として、名詞、動詞、形容動詞、形容詞の四つが挙げられてきたが、Web 上では次のような品詞に「ばい」が付加された用例が現れている。

(1) 代名詞

・ 指示代名詞

これ(っ)ばい、それ(っ)ばい、あれ(っ)ばい、ここ(っ)ばい、そこ(っ)ばい、あそこ(っ)ばい、こちら(っ)ばい、そちら(っ)ばい、あちら(っ)ばい、そう(っ)ばい

・ 人称代名詞

わたし(っ)ばい、あなた(っ)ばい、彼(っ)ばい、彼女(っ)ばい

その他、次のように不定称の代名詞にも「ばい」と結び付いた用例がある⁶。

だれ(っ)ばい、なに(っ)ばい、どこ(っ)ばい、どっち(っ)ばい、どう(っ)ばい、どんな(っ)ばい

(2) 副詞

・まだ(っ)ばい、やっと(っ)ばい、やっぱり(っ)ばい、いつも(っ)ばい、わざと(っ)ばい、すぐっばい(もうすぐ(っ)ばい)、なるほどっばい、ついにつばい、まさかっばい、ちようどっばい、たまにつばい、もっどっばい、たぶんばい

この他、ここに分類すべきかどうかは難しいところであるが、次のように副詞としての用法をもつ「擬態語/擬音語+ばい」の形式もあった。

・べらべら(っ)ばい、がっかり(っ)ばい、そろそろ(っ)ばい、よれよれ(っ)ばい、じめじめっばい、ふわふわっばい、こっそりとっばい、ゆっくりっばい、いらいらっばい、ふさふさっばい、うっかりっばい、ふらふらっばい、どきどきっばい、あっさりっばい、こてこてっばい

3. まとめ

今回の調査によって、接尾辞「ばい」はこれまでに説明されてきたよりも、かなり広範囲にわたって用いられるようになってきていることが分かった。このことは、「ばい」が結び付く品詞が名詞、形容動詞、形容詞、動詞だけではなく、代名詞や副詞など他の品詞にまで広がってきていることや、それぞれの品詞ごとに結び付く語形が決まっていたのに、その枠を越えて様々な語形に接続するようになったこと、さらに、それぞれの品詞において、結び付く語彙の数が増えていることなどからも指摘でき、「ばい」のもつ造語力が一段と増したことの裏付けともなっている。また、従来は、「ばい」が後接するのは、語ないし語幹とされていたが、それが述語形にまで及んでいるということは、「ばい」が単なる接辞にとどまらず、助動詞としての機能をもつようになってきたことを示唆するものではないだろうか。このような「ばい」の使用環境の広がりや個人の領域にとどまるのか、文法体系の中に根差していくのかを見極めるには、今少し時間が必要であろう。

注

1. 森田良行(1989: 1023)
2. 石島満沙子(1994: 52)に、品詞別に見た場合の造語力の有無を表にまとめたものがあり、動詞・形容詞は造語力が「無し」、形容動詞は「有り」、名詞のうち普通名詞と「～色をおびた」の意味を表す色名詞は「有り、大きい」と記述されている。
3. 用例の収集にあたっては、次の文庫を用いた。

『静かなる刑事』(笹沢佐保)、『ある閉ざされた雪の山荘で』(東野圭吾)、『被害者の刻印』(太田蘭三)、『札幌雪まつりの殺人』(山村美紗)、『羅生門殺人旅情』(斉藤栄)、『新橋烏森口青春篇』(椎名誠)、『吸血の家』(二階堂黎人)、『倉敷から来た女』(西村京太)

郎)、『蛇鏡』(坂東眞砂子)、『転勤みやげは死体付き』(和久峻三)、『さかさ髑髏は三度唄う』(司凍季)、『そして扉が閉ざされた』(岡嶋二人)、『山形新幹線「つばさ」の女』(峰隆一郎)、『逆転! 戦国大合戦』(桐野作人)、『白骨温泉殺人事件』(吉村達也)、『北アルプス爺ヶ岳の惨劇』(梓林太郎)、『盗聴』(真保裕一)、『ライン』(乃南アサ)、『黒い仏』(殊能将之)、『記憶の隠れ家』(小池真理子)、『殺人株式会社』(森村誠一)、『迷宮廻行』(貫井徳郎)、『脳男』(首藤瓜於)、『原罪の庭』(篠田真由美)、『黄昏の囁き』(綾辻行人)、『長い長い殺人』(宮部みゆき)、『深紅』(野沢尚)、『閉鎖病棟』(帚木蓬生)、『長靴をはいた犬』(山田正紀)、『ぼっけえ、きょうてえ』(岩井志麻子)、『警視庁捜査一課南平班』(鳥羽亮)、『花の下にて春死なん』(北森鴻)、『左手に告げるなかれ』(渡辺洋子)、『頼子のために』(法月綸太郎)、『盤上の敵』(北村薫)、『検察捜査』(中嶋博行)、『血塗られた神話』(新堂冬樹)、『ガラスの麒麟』(加納朋子)、『札幌・オホーツク逆転の殺人』(深谷忠記)、『月光ゲーム』(有栖川有栖)、『瞬間移動死体』(西澤保彦)、『京都・尾道れんが坂の殺人』(谷川涼太郎)、『顔に降りかかる雨』(桐野夏生)、『安達ヶ原の鬼密室』(歌野晶午)、『阿寒湖わらべ唄殺人事件』『土佐わらべ唄殺人事件』(木谷恭介)、『黄色館の秘密』『「白鳥」の殺人』(折原一)、『鞆の浦殺人事件』『姫島殺人事件』(内田康夫)

4. 「白っぽい」や「黒っぽい」における色彩語彙を名詞と取るか、形容詞の語幹と考えるかは、判断が難しいところであるが、本稿では、「白い」「黒い」のような言い切りの形をもつものは、形容詞として扱うことにする。

5. 例えば、次のような用例がある。

結構泣きっぽい人、アイスが溶けっぽい、根腐りっぽい、凍りっぽい牛乳、
冷めっぽい性格、諦めっぽい人間、悩みっぽい自分

6. 例えば、次のような用例がある。

あなたが芸能人ならだれっぽい？ 血液型は何っぽい？
一部の優勝はどこっぽい？ 選ぶとしたらどっっぽいですか？
高校受験はどうっぽい？ みんなはどんなっぽい？

参考文献

- 浅野鶴子・金田一春彦(1978) 『擬音語・擬態語辞典』 角川書店
 日本語教育学会編(1982) 『日本語教育事典』 大修館書店
 森田良行(1989) 『基礎日本語辞典』 角川書店
 石島満沙子(1994) 「接尾語「～っぽい」に関する一考察」 『北海道大学留学生センター一年報』第2号
 小島聡子(2003) 「接尾語「ばい」の変化」 『明海日本語』第8号